

せいれい乳児院の窓から

第113号 H30年3月



少しずつ暖かな陽射しが感じられる頃となりました。今年の大雪は、本当にくたびれました。春が待ち遠しくなりました。冬の間、子どもたちはインフルエンザやノロ、ロタにも罹ることなく過ごしてきました。ところが、2月末になってインフルエンザが乳児院に入り心配しましたが、あまり広がることなく収束しホッとしました。このまま暖かな春になって、お外にお出かけできる日々を心待ちにしています。

今、聖霊乳児院では新年度の準備もほぼ終わり、子どもたちが安心して暮らせる環境作りを整えました。在院する子どもたちは少ないのですが、その分一人ひとりに目が届く養育に励みたいと思います。また、聖霊乳児院の今後について新しい計画を進めつつあります。今後ともよろしく願います。(院長)



子どもたちは色鮮やかな着物に着替えて写真を撮りました。慣れない着物に緊張している子、嬉しそうな子、表情はさまざまでしたが素敵な写真になりました。その後は、紙風船や巻き笛などのお正月の玩具で遊びました。



今年の節分も赤鬼(院長鬼)さんがやってきました。

『おにのパンツ』の絵本を見た後に、鬼のタペストリーに向かってボールを投げているところに・・・赤鬼さんが登場！驚いて泣いてしまう子が多い中、泣かずに鬼さんに抱っこしてもらった子もいました。



女の子たちはかわいい衣装に着替え、髪をセットして、雛人形の前で写真を撮りました。職員に「かわいいね～」と言われ、ご機嫌でした。





泣いたり笑ったり



Rちゃん (7ヶ月)

いつもにこにこ笑顔のRちゃん。
 自慢の長い舌をニョキッと出して、めっきり上達した
 すり這いでお目当てのおもちゃに猛突進。お友達のおもちゃが気になるとそこにも猛突進。
 あっちこっちと毎日忙しそうです。
 最近お座りが出来るようになったと思ったら、
 もう立つ練習も始めてしまった好奇心旺盛なRちゃんでした。



つばめ組 Rくん (1歳11ヶ月)

Rくんはピグレットが大好き。見つけると嬉しそうに笑います。
 ピグレットの顔をクシャッとつぶして、その変顔を見て大笑いします。
 大泣きしてもピグレットがいれば笑顔になれます。
 でも、ほとんどは、口にくわえて歩き回ります。まるで親猫が子猫を運ぶような感じです。そのため、ピグレットの耳と鼻はすぐ汚れてしまいます。ピグレットがいないと泣きながら探します。

だから洗濯も大急ぎ。相棒・ピグレットと今日も元気一杯走り回るRくんでした。



ゆきあそび



今年の冬は、たくさん雪が積もりました。
 子どもたちは窓から外を見て、「ゆきーっ！」と言ったり、
 空から降ってくる雪をじっと見たりしていました。

つばめ組の子どもたちは、ジャンプスーツを着て雪遊びをしました。
 雪の山に登ったり、ソリに乗ったりと、それぞれ楽しんでいました。



子どもたちに人気の絵本



紅白まんじゅうが色々なものを挟んでおしくらまんじゅうをしてしまいます。
 ページをめくるたび、紅白まんじゅうに押された登場人物がどうなってしまうのか、笑いを交えながら楽しむことができます。

発行：聖霊乳児院 金沢市長町1丁目5番30

☎ (076) 223-2878